



# 平和首長会議ニュース

2024年3月 / 第171号

平和首長会議加盟都市数

166 か国・地域 **8,374** 自治体

**加盟都市数 10,000 都市を目指しています!**

日本国内加盟自治体数 : 1,739

(2024年3月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック!

🌐 ウェブサイト:

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

✂ X(旧ツイッター):

<https://x.com/Mayors4Peace>

「いいね!」をお待ちしています。

## <<今号の内容>>

- ◆ 平和首長会議主催 平和教育ウェビナーを開催しました!
- ◆ 加盟都市の活動紹介
- ◆ 平和首長会議加盟自治体数:166か国・地域 8,374自治体
- ◆ 平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆ 平和教育の取組事例を募集しています
- ◆ 被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ 長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2023年版「世界の核物質データ」ポスター解説③
- ◆ ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆ 広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

■平和首長会議主催 平和教育ウェビナーを開催しました！

2月28日、平和首長会議では、国内外の加盟都市等における青少年の平和活動の活性化を図るため、青少年が実施する平和活動の取組報告及び意見交換の場として、平和教育ウェビナーを開催し、その模様をライブ配信しました。

本年のウェビナーでは、世界各地で平和活動に取り組む熱意ある若者が、自身が行っている平和活動について発表し合うとともに、それぞれが活動を行う上で感じている課題や今後の取組などについて活発な議論が交わされました。



ウェビナーの様子

ウェビナーの映像は、平和首長会議のウェブサイトからご覧いただけます。

【URL】 <https://www.mayorsforpeace.org/en/news/2024/post-240307-2/>

【ウェビナー概要】

○ 次第

- ・ ビデオメッセージ(平和首長会議会長(広島市長)松井一實)
- ・ 趣旨説明
- ・ 核兵器を巡る国際情勢についての講義
- ・ 青少年による発表(7都市・団体等)
- ・ ディスカッション
- ・ 講評・閉会

○ ファシリテーター:長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授 中村桂子氏

○ 発表者(発表順)

所属等	発表者	居住地
広島市立舟入高等学校	出野日葵さん、織田未来さん	日本
ウェリントン市	フィービー・ロケットさん	ニュージーランド
マラヤ大学	ホ・ヨン・チーさん	マレーシア
ICANDドイツ	ヤニナ・ルーサさん	ドイツ
ナガサキ・ユース代表团	平林千奈満さん、安元和愛さん	日本
コミュニケーション/持続可能な 安全保障コンサルタント	ヴァンダ・プロスコヴァさん	ベルギー
国連軍縮部が設立した 「ユース非核リーダー基金」の プログラム参加者第一期生	ケレセ・オークリー・ウィリアムズさん	ジャマイカ

=====  
**■加盟都市の活動紹介**  
=====

●千葉県我孫子市

我孫子市では、平和の尊さや戦争の恐ろしさを次世代に伝えていくため「平和の集い～我孫子から平和を願う～」展を開催しています。

令和5年は、広島への中学生派遣事業や、歴代派遣中学生が小学6年生へ平和の思いを繋いでいく特別授業(リレー講座)の実施、我孫子市平和事業推進市民会議の活動紹介のほか、平和首長会議が主催する「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」の歴代入賞作品などの展示を行いました。



写真提供: 我孫子市

●東京都荒川区

荒川区は、「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト作品展」と題し、平和首長会議が実施した「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2023」において区に応募があった作品と海外入賞作品を展示しました。

カラフルで個性あふれる海外の入賞作品を展示することで、展示内容がバラエティ豊かで華やかになり、また作者のメッセージにもそれぞれ考えや思いが詰まっていて、より多くの方を惹き付ける展示になりました。



写真提供: 荒川区



● 神奈川県秦野市 被爆アオギリ二世の苗木を植樹

秦野市では平和の尊さを改めて考えてもらうとともに将来に向けて継承することを目的に、市内在住の小中学生親子5組で結成された親子ひろしま訪問団が毎年8月5日～7日に広島を訪問しています。今年度、新たな試みとして、訪問団員5名が通学する市内小中学校において、被爆アオギリを通じて原爆や戦争の悲惨さ、平和の大切さを未来に伝えていくため植樹を行いました。

今後も、苗木の成長とともに平和意識を市民の皆様と一緒に育んで参ります。



写真提供: 秦野市

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

**是非、短文のご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。**

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

=====  
**■平和首長会議加盟自治体数:166か国・地域 8,374自治体**  
 =====

2024年3月1日付で、11自治体が加盟し、加盟自治体数は8,374都市となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国・地域名	新規加盟都市名	加盟都市数	備考
アルバニア	レジャ	5	平和団体パスウェイズ・トゥ・ピースの呼び掛けにより加盟。
ドイツ	エニンゲン・ウンター・アハアルム	881	副会長都市及びリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
ヨルダン	アル・シュラ等 7都市	34	昨年8月に平和記念式典に参列した駐日ヨルダン大使の要請がきっかけとなり加盟。
トルコ	イネギョル等 2都市	23	昨年11月に前(すすめ)広島市副市長を訪問された駐日トルコ大使の要請を受けて、同国外務省が加盟を呼び掛ける文書を出したことがきっかけとなり加盟。



平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！

3月1日付新規加盟自治体一覧(PDF):  
[https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2024/file-2402-newmembers2403\\_jp.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2024/file-2402-newmembers2403_jp.pdf)

加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF):  
[https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07\\_membership\\_by\\_country\\_jp.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07_membership_by_country_jp.pdf)

■■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください

2021年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「平和首長会議行動計画(2021年ー2025年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

「平和首長会議行動計画(2021年ー2025年)」(PDF): [https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX\\_Vision\\_Action\\_Plan.jp.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX_Vision_Action_Plan.jp.pdf)

行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト): <https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/>



■■平和教育の取組事例を募集しています

平和首長会議事務局では、加盟都市での取組の活性化につなげていくために、各加盟都市において実施されている平和教育の取組事例を収集し、「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介しています。これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

平和教育の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト): <https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/edu-example/>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。頂いた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:  
Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp) TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

■■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の苗木の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

今年度においても、すでに多くの加盟都市から配付の申請をいただいております。ありがとうございます。引き続き申請を受け付けておりますので、是非ご検討いただければ幸いです。この事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。



また、被爆樹木二世の苗木を活用した取組(植樹式や啓発活動を行ったり、平和教育の教材として活用した例など)がありましたら、是非事務局にご報告ください。このメールマガジンや、平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)  
▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452



=====

**■長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2023年版「世界の核物質データ」ポスター解説③**

=====

前回解説したように、核兵器の製造に必要な不可欠な原材料は、高濃縮ウランまたはプルトニウムです。これらの核物質を手に入れるためには、高濃縮ウランについてはウラン濃縮施設、プルトニウムについては再処理(使用済み燃料から化学処理によってプルトニウムを取り出すこと)施設が必要となります。

原子力発電でも、「核燃料サイクル」施設として、これらの2施設を持っている国があります。たとえ小規模であっても核燃料サイクル施設を手にするには、軍事利用可能な核物質を生産する能力を持つこととなります。したがって、核燃料サイクル能力が世界に広まれば、核兵器拡散の危険性が大幅に増加します。

現に、民生用再処理によって回収されるプルトニウムが増大している事実は、国際安全保障上大きな課題となっています。本ポスターで使用している2021年末現在の非軍事用プルトニウムの量は403トンです。2011年と比較すると、軍事用は変化がありませんが、非軍事用プルトニウムは108トンも増加しており、こうした増加傾向を止めることが世界的な課題となっています。

非核兵器国の中で、とりわけ多くの民生用プルトニウムを保有しているのは日本です。2021年末現在、日本が持っているプルトニウムの量は45.8トンであり、長崎原爆(6kgのプルトニウムが含まれたと想定)に換算すると7,633発分に相当します。これはロシア、英国、米国、フランスに次いで5番目に多く、世界の8%に上ります。他の非核兵器国は全部合わせても0.5%以下ですから、いかに日本の保有量が突出しているかがわかります(表を参照)。

詳細なデータはRECNAのウェブサイト <https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/topics/44565> で公開しています。さらに詳しい内容を知りたい方はそちらをご覧ください。

## 世界の分離プルトニウム

(2021年末現在)

国名	軍事用(トン)	非軍事用(トン)	合計(トン)
ロシア	88.0	103.5	191.5
米国	38.4	49.4	87.8
フランス	6.0	85.0	91.0
中国	2.9	0.04	2.94
英国	3.2	116.5	119.7
イスラエル	0.8		0.8
パキスタン	0.5		0.5
インド	9.2	0.4	9.6
北朝鮮	0.04		0.04
日本		45.8	45.8
他の非核保有国※		2.5	2.5
小計	149	403	
合計	552		

※5か国：オランダ、イタリア、スペイン、ドイツ、スイス

注：核物質量は推定値や組成で不確実性が高いため、合計数値は丸めた数値となっている

画像提供：長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)

=====  
**■ヒロシマ発平和関連ニュース(連載第113回)**

[中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====  
広島平和記念資料館本館には、「故郷を離れた地で」というタイトルで外国人被爆者のコーナーが設置されています。朝鮮半島出身者、ドイツ人神父らのほか、東南アジアから広島文理科大(現広島大)へ送られた「南方特別留学生」も紹介されています。広島で被爆し、母国マレーシアへ帰国後は日本との友好交流にも尽くした元南方特別留学生、故アブドル・ラザクさんの長男ズルキフリさんが先月、広島を訪れました。

ズルキフリさんにとって、展示を見学できたことには特別な感慨があったようです。さらには、被爆直後から父と行動を共にした栗原明子(めいこ)さんとの面会も果たし、当時の記憶を証言してもらいました。「戦争は反対。核兵器なんて造らず、助け合って暮らすことが大切」。ズルキフリさんが耳を傾けた97歳の被爆者の言葉は、シンプルですが不思議なほど胸に重く響きます。マレーシアだけでなく各国の市民と共有したい思いです。

関連記事は次のアドレスで読むことができます。

父の被爆知る女性と初対面 広島文理科大 南方留学生の長男 マレーシアから来日 足跡たどる  
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=139139>

各国と被爆地 若者結ぶ会議 核廃絶へ人材育成 8月に広島  
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=139273>

おなかの子 知らぬまま被爆死 資料館元館長父の遺品 7年ぶり常設展示  
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=139446>


広島原爆時刻指す腕時計 370万円で落札  
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=139584>

[国際女性デー2024] 関東の若者ら 講演やアニメ制作 ジェンダー視点 核兵器を考える 男性偏重の国際政治に一石  
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=139764>

=====  
**■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について**

=====  
核兵器禁止条約は2021年1月22日に発効し、現在70か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙  
<https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-syomei.pdf>



\*\*\*このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください\*\*\*

**平和首長会議事務局**

〒730-0811 広島市中区中島町1-5 (公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/newsflash>

**【平和首長会議公式SNSアカウント】**

〈X(旧ツイッター)〉  **@Mayors4Peace**  
<https://x.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉  **@mayorsforpeace**  
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！